

令和8年度 関東信越地区高等専門学校体育大会陸上競技
兼 第63回 関東信越地区高等専門学校陸上競技対校選手権大会
兼 第61回 全国高等専門学校体育大会陸上競技予選会 実施要項

1. 主催 関東信越地区高等専門学校体育協会、一般財団法人茨城陸上競技協会
2. 主管 関東信越地区高等専門学校体育協会陸上競技専門部
3. 開催校 茨城工業高等専門学校
4. 日時 令和8(2026)年7月3日(金) 開会式 15時30分, 競技開始16時30分
7月4日(土) 競技開始 9時00分
7月5日(日) 競技開始 9時00分, 閉会式 競技終了後(12時00頃の予定)
5. 場所 水戸信用金庫スタジアム(笠松運動公園陸上競技場)・投てき場
(〒311-0102 茨城県ひたちなか市佐和 2197-28 TEL: 029-202-0808)
6. 競技種目 男子(17種目) 女子(11種目)
男子: 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、4×100mR、4×400mR、
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投(800g)
女子: 100m、200m、800m、3000m、100mH、4×100mR、走高跳、走幅跳、砲丸投(4.0kg)、
円盤投(1.0kg)、やり投(600g)
7. 参加資格 2026年度(公財)日本陸上競技連盟登録者に限る。
8. 競技規則 2026年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせによる。
9. 参加制限 (1) 監督、コーチ、マネージャーは、それぞれ1名までとする。男子選手は1種目各校2名以内とし、リレーを除き1人2種目以内とする。リレーは1校1チーム(6名以内)とする。
(2) 女子選手は、1種目各校原則2名以内とし、リレーを除き1人原則3種目以内とする。ただし、100m、800m、走幅跳、砲丸投については、いずれか2種目以内とする。その他詳細を競技注意事項に定める。
10. 競技方法 (1) 男女別学校対校とする(男子17種目、女子11種目それぞれの合計得点による順位)。
(2) 得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。同順位が複数(n)生じた場合は順位点の合計を(n)で除した得点とする(走高跳の3位決定戦の結果は考慮せず、本戦の結果を適用する)。
(3) 最多得点校を優勝校とし、同点の場合の順位は、上位入賞種目の多い学校を上位とする。これで決しない場合、男子は4×400mR、女子は4×100mRの上位校とする。
11. 全国大会出場条件 競技注意事項(申し合わせ事項)のとおりとする。
12. 表彰 (1) 総合優勝校には賞状および優勝トロフィーを、2位と3位の学校には賞状を授与する。
(2) 各種目1位から3位までの入賞者には賞状を授与する。
(3) 表彰は決勝終了後直ちに行う。
13. アスリートビブス 各校、縦16cm以内×横24cm以内のアスリートビブス(男子は白地に黒字、女子は白地に赤字)を作成する。各校のアスリートビブス番号は次のとおりとし、男女通し番号とする。写真判定用腰ナンバー標識は、開催校が用意する。
群馬: 101~149 長野: 151~199 長野: 201~249
茨城: 251~299 小山: 301~349 東京: 351~399
木更津: 401~449 産技品川: 501~549 産技荒川: 551~599
サレジオ: 601~649
14. 監督会議 令和8年7月3日(金)14時30分から水戸信用金庫スタジアム役員室3にて行う。

競技注意事項（申し合わせ事項）

1. 競技について

- 1) 本競技会は、2026年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会の申し合わせ事項によって行う。
- 2) トラック競技は、予選及び決勝ラウンド（男女200m、男子400m、男女800m、男子400mH、男子4×400mRについてはタイムレース決勝）を実施する。フィールド競技（走高跳以外）は、トップ8による6回試技を実施する。
- 3) トラック競技は、不正スタート1回で失格とする。
- 4) トラック競技の招集完了時刻の段階で予選の必要がなくなった場合、予選は実施しない。競技は原則として決勝の開始時刻に行う。
- 5) 男子5000mは気象状況に応じて、バックストレート側に給水を用意する。
- 6) 競技場備え付けの用具を使用すること。マット、スターティングブロック、ハードル、投てき物等は主催者が準備するので、係の指示に従って使用すること。ただし、その他の用具（メジャー、炭酸マグネシウム等）は各校で準備すること。
- 7) やり（男女）の持ち込みについては、やり投競技実施日の8時30分～9時00分に正面入口に入って左側エレベータ付近にて検定を行う。検定を受けたやりは共有で使用することができる。
- 8) 男女走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする（但し天候等の状況により変更することもある）。練習は任意の高さで行うことができる。ジャンプオフ（1位決定戦）は2cmずつとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	任意	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降3cm刻み
女子走高跳	任意	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cm刻み

- 9) 男子走高跳で3位が2名以上となった場合は、全国高専大会出場権をかけた3位決定戦を実施する。決定戦の実施方法は、ジャンプオフの方法に準ずる。
- 10) 三段跳について、競技者のレベルに合わせるため、予選では9mと11mの踏切板を用意する。9m板を利用する選手は監督会議までに申し出ること。申し出がない場合は、全て11mでの実施とする。なお、エントリー時に申告した踏切板を最後まで使用する。
- 11) 本陸上競技場は、全天候型陸上競技場のため、9mm以下の全天候型用のスパイクピンを使用すること。ただし、走高跳とやり投については12mm以下とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- 12) 競技で使用する靴底の厚さは以下の表に記載された物でなければならない（TR5.2を適用）。シューズについては、WA（世界陸連）の認証品リストを確認の上、使用すること。

種目	トラック種目、ハードル種目、障害物競走	フィールド種目
最大の厚さ	20mm	スパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ

【WA（世界陸連）Webサイト；LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES】（2024年11月1日から適用）

- 13) 使用された靴に関して審判員が疑義を抱いた場合、競技終了後に各審判長の権限で検査を行うことがある。
- 14) 競技に関する提出書類は、下記のとおりとする。

提出書類	配布場所	提出締め切り時刻	提出・申告場所
プログラム訂正用紙	学校受付時封筒内	大会1日目競技開始1時間前まで	TIC
欠場届・多種目同時出場届	なし【口頭申告】	招集開始時刻まで	招集所競技者係
リレーオーダー用紙	学校受付時封筒内	招集完了時刻の1時間前まで	招集所競技者係
リレーオーダー変更届	招集所競技者係	招集完了時刻	招集所競技者係
抗議受付（口頭含む）	TIC	結果が公式発表から 予選：15分以内・決勝：30分以内	TIC
上訴申立書（文書）	TIC		TIC

15) 砲丸投は、投てき場での実施とする。

2. オープン種目及びオープン出場について

- 1) 男子3種目(100m、200m、1500m)のオープン種目を実施する(オープン種目は「9. 参加制限」の規定に含まれない)。また、男女専攻科生のオープン出場を認める。ただし、レーン状況によっては、一切のオープン出場を認めない場合もあり得る。
- 2) 女子種目(リレーを除く)において、各校2名を超えて出場する場合は、3人目からをオープン出場扱いとする。その際は、オープン出場扱いとなる選手をエントリーの段階で必ず明記すること。
- 3) 女子が1人3種目を超えて出場する場合は、4種目目からをオープン出場扱いとする。その際は、オープン出場扱いとなる種目をエントリーの段階で必ず明記すること。
- 4) 女子4×100mR においては他高専との混成チームでのオープン出場を認める。
- 5) 上記1)～4)のオープン種目およびオープン出場者については、対校得点に含めないものとする。

3. 練習について

- 1) 練習に際しては、各学校顧問の管理のもと、別紙「練習場使用日程表」に従い、指定された場所・時間帯で実施すること。また、競技役員・練習会場係の指示に従い、危険・事故防止に配慮すること。
- 2) 練習会場は、補助競技場とする。スタジアム、投てき場内での練習は別途定める。
- 3) 水戸信用金庫スタジアム内での練習は、1日目は開門(xx時xx分の予定)から開会式15分前まで、2～3日目は開門(7時00分の予定)から競技開始15分前まで使用を認める。スタジアム内では、投てきピット、芝生フィールド内での練習は禁止する。
- 4) 投てき練習は、必ず各学校顧問が付き添い、危険・事故防止に努めること。各学校顧問が付き添っていない場合は練習を認めない。指定された場所・時間帯以外の投てき練習および投てき物を用いた練習(ターン・スイング・助走練習など)は禁止とする。
- 5) 公式練習及び競技中を除き、投てき用具の貸し出しは行わない。練習用の投てき用具は各校で準備をすること。
- 6) フィールド種目に関しては、招集完了後にピットへ移動し、足合わせ、練習等は可能である。
- 7) 笠松運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習(流し、ダッシュ、ドリル、ハードルやボール等の使用を含む)は禁止とする。

4. 招集について

- 1) 招集所は、200mスタート地点後方の第4ゲートに招集所を設置する。トラック競技に出場する競技者の招集は招集所で行うが、フィールド競技に出場する競技者の招集は、現地で行う。
- 2) 招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程を参照すること。トラック競技は30分前開始、20分前完了、フィールド競技は40分前開始、30分前完了とする。招集完了時刻までに、招集所(投てき種目は現地)で待機し最終点呼を受けること。その際アスリートビブス(ナンバーカード)、競技用靴等の点検を受けること。トラック競技に出場する競技者は、招集完了後、各自でスタート地点に移動すること。
- 3) アスリートビブス(ナンバーカード)は胸と背に1枚ずつ確実につけること。女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- 4) トラック競技に出場する競技者は、招集の際に腰ナンバーカードを受け取り、右腰後方の位置に固定してから競技場所へ向かうこと。フィニッシュ後、腰ナンバーカードは招集所に返却すること。

- 5) 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所競技者係に口頭で申し出ること。なお、監督会議までに棄権することがわかっている場合は、監督会議の場で申し出ること。
- 6) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、本人または代理人が、あらかじめ招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに招集所競技者係に口頭で申し出ること（フィールド種目を兼ねる場合は、出場する種目の現地の競技役員に申し出ること）。
- 7) 招集完了時刻に遅れた競技者や、同一時刻に他種目に出場する旨の届け出がない（連絡がない）競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する（その競技に出場できない）。

5. リレーについて

- 1) リレーのオーダー用紙は、予選・決勝ともに、招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係に提出する。
- 2) リレーオーダー用紙を提出した後は、招集完了時刻までに大会医務員の判断がない限り変更は認められない（提出後のケガ等は除く）。ケガ等により変更を希望する場合は、招集所競技者係から『リレーオーダー変更届』を受け取り、医務員の判断を受ける。変更が認められた場合のみ、『リレーオーダー変更届』を招集所競技者係に提出する。なお、変更は出場する競技者の変更のみであり、走順を再編成することはできない。
- 3) リレー種目に出走する4人の選手は、招集開始から完了時刻までに招集所にて4人揃って招集を受けること。
- 4) リレー種目に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。ただし、同一のチームと判別可能（デザイン、配色が同一）であれば、形状（タイプ）が異なるユニフォームを着用しても良い。
- 5) リレー競技のマーカー（最大50mm×400mm）は各チームで用意すること。マーカーは競技終了後に各チームの責任で除去すること。
- 6) 4×400mRにおいて4走の競技者は写真判定のため、右腰後方に腰ナンバーをつけること。
- 7) 専攻科生のオープン出場を認める。ただし、リレー種目は、本科生と専攻科生が同一チームで出場することはできない。

6. 表彰について

表彰は、男女各種目（オープン種目を除く）3位まで行う。該当者（代理可）は競技終了後直ちに控室に集合すること。各種目3位までの表彰者は、選手保護の観点からチームジャージまたはチームTシャツなどで出席すること。下半身はジャージまたはハーフパンツとする。その際、広告および掲示物に関する規定を遵守すること。学校対校の表彰は、閉会式にて表彰を行う。

7. 参加申し込みについて

以下の様式を6月12日（金）までに提出すること。また、エントリーファイルには、次の有効期間内の公認最高記録を入力すること。公認記録がない場合は参考記録（練習等の記録を含む）を入力すること。必ず出場種目に対応した記録を入力すること。

	資格（最高）記録の有効期間
個人種目	令和7(2025)年4月1日から令和8(2026)年6月7日まで
リレー種目	令和8(2026)年4月1日から令和8(2026)年6月7日まで

- 1) 指定の Excel ファイルに必要な事項を入力したものを提出する。
- 2) 書面による提出：
 - ①「大会申込一覧表」を印刷して所属長（学校長）印を押印する。また、競技者の健康状態について確認し、問題がなければ、学校医名の記入と押印をする。
 - ②所属長（学校長）印、学校医名の記入と押印された「大会申込一覧表」を締切り期日までに以下の宛先に郵

送する（締切期日消印有効）。

○ 送付先 〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根 866 茨城工業高等専門学校 学生課学生支援・寮務係
TEL : 029-271-2830 FAX : 029-271-2840

3) 電子データによる提出：

- ①指定の Excel ファイルで作成した「大会申込一覧表」（Excel データ）※押印不要
- ②各校関係者一覧「様式1」、参加者数調べ「別紙1」、参加料送金内訳書「別紙2」（Excel データ）
- ③日本陸連登録データ（PDF データ）（高体連・学連・各都県（一般）登録それぞれのもの）

※オープン種目、オープン出場のみ参加の学生、および、専攻科生についても提出してください。

上記①～③を締切り期日までに、以下の宛先にメールで送信する。

○ 送信先 茨城工業高等専門学校 学生課学生支援・寮務係 Email : gakusei@ibaraki-ct.ac.jp

8. 全国高専大会出場権について

- 1) 個人種目に関して、男子種目（400mH、3000mSC およびリレーを除く）は上位3名が、女子種目（100m、800m、走幅跳、砲丸投）は上位2名が全国大会の出場権を得る。辞退する場合は、大会期間中のうちに、陸上競技専門部委員長（茨城高専：伊東）まで申し出ること。
- 2) 男子4×100mR と4×400mR については、上位2チームが出場権を得る。また、これ以外のチーム（他地区大会における規定された上位順位により出場権を得たチームを除く）の中で、有効期間内における公認記録が全国ランキング上位8チームも出場権を得る。
- 3) トラック種目・フィールド種目において、男子3位（400mH、3000mSC、走高跳を除く）、男子リレー2位、および女子2位（100m、800m、走幅跳、砲丸投のみ）の競技者が同タイム（1/1000秒）や同順位となった場合は、抽選を実施する。
- 4) 男子走高跳で3位が2名以上となった場合は、全国高専大会出場権をかけた3位決定戦により決定する。
- 5) 以下に示すランキング種目の出場者（チーム）については、次のような選出方法によって全国大会開催校が決定する。参加標準記録突破者で、かつ、カッコ内のターゲットナンバー（出場制限人数以内）にある資格記録上位者（不出場者を除く）がエントリー可能となる。詳細については、全国高等専門学校体育大会陸上競技の実施要項を参照すること。ランキング記録申請の締切は、令和8（2026）年7月29日（水）13時厳守のこと。7月31日（金）にランキングがweb上に公開される予定。

【男子】400mH（24名）：59秒00、3000mSC（16名）：10分30秒00

【女子】200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00、走高跳：1m40、
円盤投：23m00、やり投：25m00 ※女子は各種目上位16名（チーム）とする。

- 6) 公認記録の有効期間について、令和8（2026）年4月1日（水）から令和8（2026）年7月29日（水）までとする。

9. 個人情報と肖像権の取り扱いについて

主催者は、個人情報に関する法令を遵守し、個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報と大会の様子の写真等は、大会資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、認められたホームページでの公開、その他競技運営及び連絡等に利用する。大会参加者で、ホームページや報道等に競技中の結果や写真等を公表してほしくない者は、エントリー時に茨城高専学生課 学生支援・寮務係まで申し出ること。

10. 来場について

- 1) 原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がないものの来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。

2) 会場での行動は、運営方針または会場系の指示に従うこと。

1 1. 競技者の入退場について

- 1) 招集完了後の競技者がスタジアム内に入場する際は、スタート地点に最も近いゲートからの入場とする。フィールド競技の競技者は、競技会場に最も近いゲートからの入場とする。
- 2) スタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人や指導者、保護者等の入場は禁止する。
- 3) トラック競技に出場する競技者は、フィニッシュ後は第2ゲートから退場して、競技場の外を回ってスタート地点に戻ること。フィニッシュ後にメインスタンド前を通らないこと。
- 4) フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従うこと。

1 2. T I C (Technical Information Center) について

TICをスタジアムの正面入口内に設置する。TICでは、学校受付、競技に関する抗議等の受付、遺失物保管などの業務を行う。

1 3. その他

- 1) 参加申込までに日本陸連および日本高専陸上競技協会への登録を済ませること。
- 2) プログラムに訂正がある場合は、大会1日目の競技開始1時間前までに招集所競技者係に申し出ること。
- 3) 練習および大会競技中に発生した傷害事故等については、主催者側で応急手当を行うが、その後の処置については一切責任を負わない。したがって、選手はマイナ保険証あるいは資格確認書を持参すること。
- 4) 正面スタンドでのテント設営及び横断幕・のぼり旗等の掲示は禁止とする。競技場周辺でのテントの設営は可能だが、施設利用者の支障にならないように配慮すること。場所取り等でテーブル類を使用する際は、養生テープを使用すること。
- 5) 横断幕の設置については、バックスタンド及びサイドスタンドの最上段に設置すること。
- 6) メインスタンドにおける集団での応援は認めない。集団での応援はサイドスタンド及びバックスタンドで実施すること。ただし、競技に支障がある場合（競技中のスタート、フィニッシュ地点の近くやフィールド競技実施中の競技場所近くでの声援）は控えること。
- 7) 出場する競技者・補助員以外は競技場内に立ち入らないこと。
- 8) ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバーやスマートフォン、その他の通信機能を備えた機器もしくは類似の機器、ヘッドフォン等は競技場内に持ち込まないこと。
- 9) 助力については、競技規則TR6に従う。フィールド競技はコーチングエリアを設置する。エリア内での映像確認は可能だが、競技場の特性上、走幅跳、三段跳に関しては、映像機器等をスタンドから吊り下ろしたり、競技者に手渡ししたりしての映像の確認は認めない。
- 10) 競技場に商品名のついた衣類やバックを持ち込む場合は、(公財)日本陸上競技連盟の国内規程（競技会における広告および展示物に関する規程）に従うこと。競技役員から指摘を受けた場合は、その指示に従うこと。

①上衣・下衣（ユニフォーム、ジャージ、Tシャツ等の衣類全て）

学校名/ロゴ：上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ、大きさは問わない。

製造会社名/ロゴ：上衣下衣それぞれ1つずつ、40 cm²以内、高さ5 cm以内、長さ10 cm以内

②手袋、ソックス、帽子、リストバンド、眼鏡・サングラスなどのアパレル用品

所属団体名/ロゴ：1箇所、10 cm²以内（学校名/ロゴ：1箇所、大きさの制限なし）

製造会社名/ロゴ：1箇所、10 cm²以内、長さ4 cm以内

③全てのタオル、バッグ

製造会社名／ロゴ：40 cm² 以内、高さ 5 cm 以内

(この規程は 2025 年 4 月修改訂)

【競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕】



- 11) スタジアムメインスタンド下 1 階および正面入口付近には、競技役員、補助員および表彰者以外は入らないこと。入る場合はアップシューズ等に履き替え、スパイクで立ち入らないこと。
- 12) 競技結果等は、茨城陸上競技協会ホームページの速報サイトに掲載する。
- 13) 貴重品は各自、各校の責任をもって保管し、盗難・紛失等に十分注意すること。
- 14) 宿泊・お弁当については別途要項による。
- 15) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。競技場備え付けのゴミ箱や最寄り駅等に捨てないこと。